

教室・講座・イベントの成果報告

主催者名	はまぎん こども宇宙科学館・洋光台サイエンスクラブ			
題名・副題	身近なもので電池を作ろう ～身近にある材料を使って電池を作ってみよう～			
月日・時間	6月8日(土) 10:00~12:00			
開催場所	はまぎん こども宇宙科学館 2階 実験室			
部会・講師名	エネルギー部会 吉田和史	参加数	5名	講師数 6名
写真				
	電池の歴史や電池の原理などを説明	レモン電池で0.5ボルトの電気を確認		
				
	身所なステンレスたわしで電池作りに挑戦	備長炭電池をつないでLED(青)を点灯		
成果解説	<p>この教室は、家庭にある身近な材料を用いて、電池を作り電気を発生させる実験を行い、電池の科学的な知識を深めるもの。</p> <p>始めに、電池と電気の基礎実験として、既存の1.5ボルト電池で電圧測定、電子オルゴール、モーター、LED点灯を体験しました。その後に電池原理であるボルタ電池作りに取り組みました。レモン電池では、輪切りのレモンに銅板と亜鉛板を差し込んで電気発生を確認。たわし(ステンレス)電池はアルミホイールと塩水紙で、備長炭電池もアルミホイールと塩水紙で作成し、本物電池と同じように電気の発生を確認しました。自分で作った1個の電池ではパワー不足を確認、2人で電池をつなぎ、3人でつないでパワーをアップ、オルゴールのメロディーが鳴り、モーターでプロペラが回り、赤青緑黄のカラーLEDも光ると、子どもたちは達成感に大はしゃぎ。講師スタッフそっちのけで思考力を発揮、次々と電池をつないで電池パワーの凄さを体験しました。最後に、備長炭電池を8個つなぎ、部屋を暗くして、多くのカラーLEDを光らせた時は感激の歓声がありました。</p>			